

夏休みよいちっ子絵画教室

7月31日(水)から8月2日(金)までの3日間、小学3～6年生を対象にした「夏休みよいちっ子絵画教室」を中央公民館で開催しました。

参加した子どもたちは、講師の景(KEI)先生の指導のもと、余市に関する風景等の絵や、ぬり絵作品づくりに取り組みました。



交通安全・防犯講話

8月26日(月)中央公民館にて、余市警察署職員を講師に迎え、寿大学・女性学級第5回合同学習講座「交通安全・防犯講話」を開催しました。

交通安全講話においては、横断歩道の正しい横断方法、自動車運転時の心構え、薄暮時間帯の事故防止に関する注意事項をドライブレコーダーの映像を見ながら、余市警察署員の解説のもと学習しました。

防犯講話では、特殊詐欺の現状・手口などの紹介、特殊詐欺の被害を防止するための注意点などについて学習しました。



森林浴ハイキング開催

日時: 10月17日(木)
 8:50 中央公民館集合
 15:00 中央公民館到着予定
場所: 共和町 神仙沼自然休養林
対象および募集人数: 3km以上歩ける方
 町内在住の一般成人10人

参加費: 1人1,000円
受付期間: 10月1日(火)から
申込方法: 中央公民館窓口または電話
その他: 事業の様子等撮影した写真や動画を社会教育課のSNS(YouTube・X・Facebook)に投稿する予定となっておりますので、ご了承ください。
 定員になり次第締め切ります。
 なお、荒天や風水害等や申込人数が少数の場合は中止することがあります。

文化祭のお知らせ

町内で文化活動を行っているサークル・団体が一堂に集い、日頃の学習や活動の成果を披露する「余市町文化祭」を中央公民館で開催します。

町民の皆さんに楽しんでいただきたく、ご来場をお待ちしています。

- 展示部門
- 文化活動紹介展 10月8日(火)～14日(月)
 - 菊花展 11月1日(金)～4日(月)
 - 文化作品展 11月1日(金)～4日(月)
 - 余市町芸術作品展 11月1日(金)～4日(月)
- 各種大会・発表会
- 本の広場おはなし会 10月5日(土) 10:30～
 - 俳句大会 10月20日(日) 13:00～
 - 呈茶会 11月3日(日) 10:00～
 - 余市手打ちそば愛好会 11月3日(日) 10:00～
 - 短歌大会 11月3日(日) 13:00～
 - 文化発表会 11月23日(土) 12:00～



寿大学・女性学級の皆さんへ

今月の学習案内

- ≪寿大学≫
第7回学習講座『環境講話』
日時: 10月3日(木) 13:30～15:00
場所: 中央公民館201・202号室
内容: ビーチコーミング活動・海の環境・保全等
講師: 小川 康和 博物館長
- ≪女性学級≫
第7回学習講座『くだもの収穫体験』
日時: 10月7日(月) 13:30～15:00
場所: 農村活性化センター
内容: くだもの学習と収穫体験
講師: 農村活性化センター職員
 ※事前申込み

問合せ・申込み
社会教育課(中央公民館) ☎23-5001



図書館のすてきな窓

問合せ 図書館 ☎22-6141
<https://www.yoichi-lib-unet.ocn.ne.jp/>
開館時間 10:00～18:30

認知症に関する展示

9月21日の世界アルツハイマーデーを契機として、認知症について理解を深めるための展示を開催中です。認知症に関する本の展示、関連団体のパンフレットを設置しています。認知症になってもならなくても、誰もが希望を持って暮らすことができる共生社会の実現に向け、まずは「知る」ことからはじめてみませんか。

おはなしかい

今年度は自然に関係する絵本を読み聞かせします。
日時: 10月12日・26日(土) 11:00～
場所: 図書館1階おはなしコーナー
今月のテーマ: 「森」

本のひろば よみきかせ会

公民館サークル「本のひろば」による読み聞かせ会です。毎週水曜日の10:30から、図書館1階の読み聞かせコーナーで開催しています。
今月の開催日: 2日、9日、16日、23日、30日

木曜映画会

木曜映画会は毎週木曜日、子どもえいがかいが第1・第3土曜日で、どちらも14:00からの上映です。
 3日: いつでも夢を(邦画)
 10日: 四十二番街(洋画)
 17日: 関ヶ原(邦画)
 24日: フリッパー(洋画)

子どもえいがかい

5日: トムとジェリー
 19日: ピーターパン



今月の休館日

・毎週月曜日
 ・10月1日(火)、31日(木) ※図書整理日



博物館文化財ニュース

問合せ 博物館 ☎22-6187
開館時間 9:00～16:30

タマサイ(ガラス玉)

右の写真は、余市町大川遺跡から出土したタマサイ(ガラス玉)と呼ばれるアイヌ民族の首飾りです。

タマサイは玉を連ねたものの意味でシトキと呼ばれる飾板がつく場合もあります。また、母から娘に伝えられる女性の宝物で、儀式のときに身につけます。

これらのガラス玉は、アイヌ民族と和人の交易や労働の対価として手に入れました。余市町指定文化財『ヨイチ御場所上下運上家関係古文書』には、幕末期のガラス玉の値段が出てきます。その中では、玉一連(50粒)が米5俵と書かれています。これは、アイヌの女性の1年分の労賃と同じであり、1年働いてようやく玉一連を手に入れることができたこととなります。

アイヌの女性がこれほど苦労を重ね、手に入れようとした理由を考えると、アイヌ社会でガラス玉が持っていた特別な重要性が見えてきます。そして、タマサイは宝物として、アイヌ民族独自の装身具となっていました。



※10月12日・13日は博物館&文化財施設の町民無料デーです。今年度の町民無料デーは12月で終了しますので、まだお越してない町民の皆さんは、ぜひこの機会に見学してみたいでしょうか。